

長崎県立大学
道の駅「昆虫の里たびら」
道の駅「生月大橋」
国土交通省 長崎河川国道事務所

記者発表資料

長崎県立大学と道の駅「昆虫の里たびら」及び道の駅「いきつきおおはし生月大橋」との連携

地域の観光資源や魅力が集まっている「道の駅」を、観光振興や地域づくりを学ぶ学生の課外活動や就労体験の場として活用することを、国土交通省が進めております（別添 参考資料参照）。

その取り組みにおける大学と「道の駅」の連携・交流の一環として、長崎県立大学と道の駅「昆虫の里たびら」、道の駅「生月大橋」の間を長崎河川国道事務所が結び、連携企画型の実習を行うこととなりました。

本連携は、地域活性化の拠点として「道の駅」が進化を遂げるため、大学と「道の駅」がお互いのニーズを確認し、企画・立案等を行うものです。

【実施内容】

○現状把握するためのアンケート調査の実施

集客が減少している「道の駅」の現状を把握するため、学生がアンケート調査を実施、マーケティングの検討などを行い集客増の取組みを検討していきます。

○「道の駅」における売場等のディスプレイ検討・改善の提言

「道の駅」の売上向上を図るため、学生が店内外のディスプレイの検討・改善策の提言を行っていきます。

【実施期間】

平成 27 年 10 月 23 日～平成 29 年 3 月 31 日

【問い合わせ先】

■長崎県立大学（佐世保校）

TEL：0956-47-5856（直通）

政野 誠一郎

■平戸市地域協働課 協働交通政策班

TEL：0950-22-4111（内線）2314

江川 佳徳

■国土交通省 九州地方整備局長崎河川国道事務所

TEL：095-839-9211（代表）

技術副所長：横山 浩 交通対策課長 井本 真樹男

長崎県立大学と道の駅「昆虫の里たびら」及び道の駅「生月大橋」との連携

(平成 27 年度実施予定事業)

現 状 把 握	○道の駅施設及び周辺地域調査 ・「道の駅」で販売している商品や陳列状況調査、売場レイアウトなど道の駅施設の調査 ・「道の駅」周辺の地域資源の調査
	○マーケティング調査の実施 ・平成 27 年 10 月～12 月までの間にて、学生自ら「道の駅」で来客者に対しアンケート調査を実施。 ・アンケート調査結果を基に分析



(平成 28 年度実施予定事業)

今 後 の 予 定	○「道の駅」売場レイアウト等の検討・提言
	○実証実験 ・前年度の調査結果を基に、「道の駅」の集客増を図る手法を検討し、イベント開催などにあわせ学生自ら実証実験



道の駅「昆虫の里たびら」、道の駅「生月大橋」の集客増・購買力向上

<p>長崎県立大学</p>	<p>長崎県立大学は、佐世保市にある佐世保校（経済学部）と西彼杵郡長与町にあるシーボルト校（国際情報学部・看護栄養学部）の2つのキャンパスからなります。</p> <p>現在、本学では、学部・学科の再編を進めており、平成28年4月より佐世保校は、「経営学部」、「地域創造学部」の2学部、シーボルト校は、「国際社会学部」、「情報システム学部」、「看護栄養学部」の3学部にも再編されます。</p> <p>○佐世保校（平成28年4月～） 経営学部（経営学科、国際経営学科） 地域創造学部（公共政策学科、実践経済学科）</p> <p>○シーボルト校（平成28年4月～） 国際社会学部（国際社会学科） 情報システム学部（情報システム学科、情報セキュリティ学科） 看護栄養学部（看護学科、栄養健康学科）</p>	
<p>道の駅 「生月大橋」</p>	<p>道の駅「生月大橋」は、平戸市と生月町を結ぶ橋のたもとの生月大橋公園内にあります。公園には土産品店、多目的広場、散策道などがあり、隣接地には生月町博物館もあります。道の駅生月大橋のイチオシは、日本一の連続トラス橋『生月大橋』です。生月と平戸を隔てる“辰ノ瀬戸”に平成3年に開通した『生月大橋』は、三径間連続トラス橋としては“世界一の長さ”を誇り、その長さは全長960mにのびます。潮流の飛び散る白い水しぶきがライトブルーの『生月大橋』と美しいコントラストを織り成しています。</p>	
<p>道の駅 「昆虫の里たびら」</p>	<p>道の駅「昆虫の里たびら」は、全国有数の観光地ハウステンボスと、平戸市に至るオランダ街道（国道204号）に接する場所に平成13年にオープンしました。目印は巨大カブトムシのモニュメント。農水産物や特産品を販売する物産館には、特殊カメラで撮影した昆虫のパネルの展示や世界遺産関連情報や観光、季節のイベント情報などを発信しています。</p>	